

## 令和2年度大磯町教育委員会第1回臨時会議事録

1. 日 時 令和2年7月28日（火）  
開会時間 午前9時30分  
閉会時間 午前11時20分
2. 場 所 大磯町保健センター 2階研修室
3. 出席者 野 島 健 二 教育長  
曾 田 成 則 教育長職務代理人  
長 嶋 徹 委員  
トーリー 二葉 委員  
濱 谷 海 八 委員  
大 槻 直 行 教育部長  
宮 代 千 秋 学校教育課長  
添 田 健 学校教育課主幹兼教育指導係長  
田 中 恵 子 （書記）学校教育課副課長兼教育総務係長  
鳥 海 淳 一 学校教育課教育指導係指導主事
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 9名
6. 付議事項  
議案第6号 大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について  
議案第7号 大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について  
議案第8号 大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
7. その他

### （開 会）

教育長）皆様、おはようございます。本日はお忙しいところ、ご参集いただきましてありがとうございます。

それでは、ただいまから、令和2年度大磯町教育委員会第1回臨時会を開催いたします。

本日の会議の内容ですが、付議事項3件でございます。

本日は5名全員出席しておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、臨時会は成立いたしました。

なお、本日は傍聴を希望される方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可いたします。

暫時休憩します。

～ 休憩 ～

教育長) 休憩を閉じて再開します。

**【議案第6号 大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について】**

教育長) はじめに、議案第6号「大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について」を議題といたします。事務局より補足説明をお願いします。

学校教育課主幹) 議案第6号『令和3年度大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について』、補足説明をさせていただきます。

お手数ですが、説明資料1ページの教科用図書の採択をする理由をご覧ください。本件につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律により、令和3年度大磯町立中学校で使用する教科用図書を採択するものです。

教育部長の提案理由にもございましたとおり、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定により、種目ごとに1種の教科用図書を採択するものでございます。この法律につきましては、資料の3ページに記載してございます。

資料の2ページをご覧ください。5月21日の教育委員会定例会におきまして、令和3年度大磯町立小学校および中学校で使用する教科用図書の採択方針について決定いたしました。また、大磯町教科用図書採択検討委員会を5月12日と7月7日の2日間にわたり開催いたしました。第1回の検討委員会では、教科書の定義について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律等について事務局より説明し、中学校教科用図書の調査研究の方法についてご承認いただきました。第2回の検討委員会では、中学校各種目については、中地区3市2町が共同で調査研究した結果を、代表の調査員より報告・説明を行ない、その調査研究結果報告と神奈川県教育委員会による教科用図書調査研究の結果をもとに、検討委員に協議していただきました。そこには教育委員の皆様にもオブザーバーとしてご参加いただくとともに、後日、協議内容を報告させていただきました。他にも、教育委員の皆様には、県や中地区3市2町の調査研究結果を参考に、すべての教科用図書について、それぞれ研究していただいたほか、学習会を開催して、教科用図書についての理解を深めていただきました。

そのような経過の中、このたび中学校教科用図書の全種目につきまして説明資料16ページ以降に記載のあります採択検討委員会での協議等もご参考にしていただきながら、ご審議いただきたいと考えております。そのご審議をもとに事務局で議案として提出し、最終的に種目ごとに1種の採択をしていただきたくお願いいたします。

補足説明につきましては以上でございます。どうぞご審議のほどよろしくお願いいたします。

教育長) ただいま事務局より説明がございました。それを参考に、教科・種目ごとに大磯町教育委員会として審議して参りたいと思いますので、よろしくようお願いいたします。

なお、国語は、国語の国語と、それから書写。社会のほうは、社会の地理、歴史、公民、そして地図という順番で参りますので、ご審議を頂きたいと思います。

それでは、審議のほうに入って参りたいと思います。

まず、国語の国語から審議いたします。委員の皆さんからのご意見を頂戴したいと思います。

<国語／意見>

曾田委員) 国語につきましては、4者ありまして、全部見させていただきました。

それで、前回のこの検討のときからすると、大分書いている、例えば作家で見えますと、作家の人たちが、私たちが知っている人、十分知っている人たちから、若い人たちに代わりつつある。それから、いろいろなエリアから出てきている。そういうことで、大分現代に合わせて変わってきているんだなということを感じて、4者を見させていただきました。

それで、この中で、私は特にまとまりがよかった、それからなじみやすいとか、一貫したテーマとか、同じような意味ですけど、分かりやすい、資料がそろっている、そういう点から考えますと、結論から申しますと、私は光村が大変いいなということで、光村を推薦させていただきたいと思います。

以上です。

教育長) 委員、そのほかはご意見いかがでしょうか。国語について。

トリー委員) 私も、最終的には光村でよろしいんじゃないかと思っておりますが、まず小学校でも使っていて、非常に先生もなじみがあって教えやすいという評判が、結構検討会のほうでも出ていたということと、あと、小学校から中学につなげるという意味。

ただ、三省堂も結構絵が多くて分かりやすかったり、シンプルにうまくまとまっていたと。読み方を学ぼうというコーナーも、なかなかちょっと迷うところはありましたが、大磯の子どもにという意味で、最終的に光村が、私もよろしいかと思えます。

教育長) ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

長嶋委員) 4者それぞれ特色があって、学びを深める形になっていると思います。そういった面で、上に書いてあるのが、資料が十分に見られるという、いいかなと思いますけど、全体的に見て、やはり光村が、二次元コードとか資料とかが充実してて、分かりやすくできているんじゃないかなと、そんなふうに感じました。

教育長) ありがとうございます。

濱谷委員) 私も、私も結論的に言えば、やはり光村でございます。

その理由は、私が採択の理由として挙げるのは、大磯の子どもたちにふさわしい、そして教育大綱で示されている内容等を見ていながら、光村の場合には、3年間で系統的な様相をされていると。あるいは、QRコードが掲載されているという、現代に合っているという理由で光村を推薦しているところでございます。

以上です。

教育長) ただ今、4名の委員の皆様のご意見を頂きましたけれども、4者の中で、それぞれ、またいろいろな意見もあるんですけれども、一番多かったのが、やはり光村ではないかなというふうに考えています。

確かに三省堂もちょっとよさそうだという、迷うという意見もありますし、教出もいいんじゃないかというご意見もありましたけれども、それぞれがそろって光村図書出版株式会社を推薦というふうなことで、よろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、国語については、以上にしたいと思います。

次に、書写に参りたいと思います。

国語の書写について審議をいたします。委員の皆様、ご意見等はございますか。

<書写/意見>

曾田委員) やはり同じく4者ございまして、全部見させていただきました。例えば、日本、中国を通じて有名な王羲之の字が書いてあります。中には、硯の産地とか、

墨の産地とか、紙の産地とか。書道をやる方たちはみんな分かるようなことがちゃんと載っておりますし、そういう教科書もあって、非常に全体的に、いいなと思って見ておりましたけれども、やはり国語が光村だった関係で、同じく書写も光村に決めたいと思っております。

理由は、自分の成長を確かめることができる。そういうスタイルになっている点、それから、3年間の目標が掲げているというか、そういう感じで、光村が一番いいなという感じで、私は光村を推薦したいと思います。

以上です。

教育長) ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

長嶋委員) 書写、教出と光村は今出ているような感じだったんですけど、教出は右手に、右側に手本があって、左側に学習事項が掲載されて、見えやすくなっているかなど。光村は、QRコードで動画が見れるんですね。だから、そういう意味で光村はかなり参考にできる。

どちらかと言えば、やはり国語と一緒になので、光村のほうがいいのかなという感じがしました。

教育長) ありがとうございます。その他いかがですか。

トリー委員) 私も、教出は行書と楷書の違いがすごくはっきり掲載されていて、すごく買っているところもあったんですけど、ちょっと迷いましたが、国語とそろえたほうがいいだろうということ。あと、お手本が、開くと大体半紙の大きさになって、すごく使いやすいという所。そこをすごく買っております。あとは、学校生活の中で役立つ技能や何か、知識という面で、どうやっていくかという方法・イメージがとても明確だったので、国語とそろえての光村で、最終的によろしいかと思っております。

教育長) ご意見ありがとうございます。

濱谷委員) 東書、それから教出、光村、この3点が今上がってきているんですけども。たしかに東書の場合には振り返って友達と話をしてみよう、いわゆる、振り返ったそこで書いた文字を使って、説明をする構成になっている。こういうところが東書のよいところだなというふうに感じました。

あるいは、教出のほうは止めとか払い等、実写を使っているところにもよさがあった。

光村の場合には、B5版で、見開きをするとB4版の半紙になっているという。こういうそれぞれの特色がありますが、結果的に、やはり国語の光村、そして、それに付随してくる書写も光村ということで、光村を系統的に持ったほうがいいだろうということで、光村を推させていただきます。

以上でございます。

教育長) ありがとうございます。ご意見をまとめてみますと、やはり基本としての見開きの部分のところですね。最初の部分がAB版かB5版かというところで、B5版のいいところは、例えば光村の場合は半紙の大きさになるというので、そういった意味でも、やっぱり推薦の部分と、あと、どうしてもやっぱり国語との関係ということで、光村というご意見が多数あったと捉えております。

これまでの意見をまとめまして、この書写につきまして、光村図書出版株式会社のご意見が多かったと思います。よろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、次に参りたいと思います。

ページをおめぐりいただきまして、社会になります。社会の地理的分野について、審議をいたします。

それでは、皆様方のご意見を頂きたいと思います。いかがでしょうか。

#### <地理的分野／意見>

濱谷委員) ここでは4冊ほど教科書が来ています。国語でも私、お話いたしましたように、教科書の採択は、私自身は現場の意向を尊重していきたいという一つの考え方がございます。それに基づいて、地域の子どもたちを誰よりもよく知っている先生たちのお話、あるいは地域懇談会等のお話の中から考えていきますと、やはり、地元を知る、この地元を知る視点が、地理的な視点が大事だということで見えてきますと、帝国の場合には、地域の特色を着実に理解できるように知識の展開の工夫をしていると。あるいは、振り返り学習がしやすい、問いが散りばめられている。それが深い学びにつながっていく。それが地理的な見方、考え方を育むということになるのではないかと。それから、大変資料も充実している。SDGsの実現に向けた地域事例も多数掲載をされているということが他者との大きな違いであるというふうに感じました。

確かに、教出も思考力・判断力・表現力、文科省で進めているこの3つの力を高めるといような内容のまとまりも重視をしている。あるいは導入では、小中連携の対応をしているということにも大きな特色がございますけれども、先ほど申し上げたように、地域の子どもたちの地理的な要素を育むためには、帝国の教科書がいいのではないかなと考えて、これを推させていただきます。

以上でございます。

教育長) ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

曾田委員) 私は、ある点を中心に調べまして、例えば、地理でしたら、なかなか日の当たらないヤクーツクとか、例えばシベリアのほうですと、バイカルとか、いろいろなところがあります。北方領土とか竹島とか、そういうのはもう既に詳しく載っておりますので、そういう点からヤクーツク、それからシベリアとかバイカルとか、いろいろなそういう点を中心に調べて行きました。それで、写真、現状とか、いろいろなところがよく載っているのが帝国でした。

それからもう一つはですね。私が以前、仕事の関係で、まだカーナビがない頃に地図を使ったのも、この帝国だったものですから、帝国は分かりやすいという、自分の体験に基づいたこともありますので、私は帝国を推薦したいというふうに思っております。

教育長) ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。

トリー委員) 私も帝国、すごくICTの活用という意味で買っております。2次元コードで動画が確認できるというのは、とても子どもたちにとってイメージがつかみやすいかなという、そのQRコードの充実性というところで、帝国がやはりいいかなと思っております。

ただ、東書も子どもの意見をうまくまとめていくように資料が、同じ資料が繰り返し出てきたりですとか、日文も写真を豊富に使っているので、それなりに頑張っているなという感じなんですけど、最終的に帝国のQRコードの充実というのを買って、帝国が私もいいかなと思っております。

長嶋委員) 私も東書と帝国、両方それぞれ違っていいかなと。

東書は歴史とか公民と同じような関連した資料もあって、割とよくゾーニングできるのかなということを考えています。

また、帝国は、先ほど言ったとおり、2次元コードというのがありまして、ちょうどこのコロナもあってIT化の機器が一斉に導入されるということですから、これ

を有効に現場のほうで使えるというような場合には、QRコード、2次元コードを使うとか、そういう点で帝国のほうが高いと感じました。

教育長) ありがとうございます。地理に関して、ご意見がいろいろと出ていまして、教出、あるいは東書、日文も写真が豊かであるというようなところで、いいんですけども、やはり一步、地理に関しては帝国が地域の特色とか、振り返りの学習とか、地理的な資料とか、そういったものが深い学びにつながっていくのと、それからQRコード、動画等があるので、今の時代にマッチしているのではないかなというところ、4名の方、一番多かった株式会社帝国書院ということでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、次に歴史に参りたいと思います。

歴史分野について審議をいたします。皆様ご意見をお願いいたします。

#### <歴史的分野／意見>

長嶋委員) 7者ありまして、この中からなかなか、それぞれ特色がありますので、選ぶのは大変ですけれども。

教出と、育鵬社ですね。違った分野から見た工夫がされている教出。育鵬社は幅広い知識が学べるんですね。そういう部分から広い分野で世界のことも入って、資料を基にいろいろな意見交換をして学びを深めるということが出来る興味ある教科書かなというふうに思います。

現場のほうでは、教える先生方の立場としては、教出のQRコードがを見つけやすいと。それから、「かながわ教育ビジョン」とリンクしているということで、学習のまとめなど違ったいろいろな使い方ができる教科書かなという風に思います。

以上の2点を推薦したいなと思います。

教育長) ありがとうございます。歴史、その他にはいかがでしょうか。

濱谷委員) 今、長嶋委員が二つ出されていますけれども、私の場合には、山川も興味をそそる教科書だなというふうに感じました。

なぜかと言いますと、中高一貫校にとっては大変便利な教科書、いわゆる高校につながっていく歴史の流れ。ということは、調べていきますと、高等学校の現場では山川の「詳説世界史」、「詳説日本史」、これの採択が多いという意味で、高校につながるという意味では、面白いのかなというふうに思いました。分かりやすい本文、あるいは大きな図版がふんだんに使われている。と同時に、日本史は赤、世界史は青と、今学んでいる領域が分かるような工夫がされている。そして、高等学校の新教育課程の歴史総合というのができるわけですけれども、ここで求められている歴史的思考を中学校から身に付けることができるような編集・工夫がされているという意味で、山川にも興味を持ったものでございます。

そして、育鵬社等もありますけれども、私は個人的に、歴史認識を巡る記述で論争がある教科書の採択というのはいかななものかなというようなことを感じながら、教出の、いわゆる現場の先生たちが教科書で歴史を教えていくという意味では、使いやすさがある、ウェブサイトリンクをされている、あるいは学びリンクが設けられている、あるいは節のキーワードを抜き出して、節の内容を捉えていく、こんなところが、大変現場では使いやすさがあるのかなということで、指導にあたる先生たちのことを考えていくと、教出がいいのかなというふうに考えました。

以上でございます。

教育長) 教出で。

濱谷委員) はい。

教育長) その他、いかがでしょうか。

曾田委員) 今回、7者ありましたうちの4者が奈良時代の遣唐使の船の模型が初めて出てきて、それを何名くらい乗って、何名くらいがこぎ手で、何名くらいがどうだという、具体的な、4者がそういうことを書いてくれたものがありまして、大分迷ったりいろいろしまして、やはり、新しい発見もこうやってできるんだなと思って、大変うれしかったんですけども。

いろいろな現場の先生方の声を聞いておられますと、どうにもならない部分がございます、その先生方のご意見を聞いておられますと、教出をとということで話がございましたので、教える側に立つとそういうことだろうなということで、私も教出を推薦させていただきたいと思えます。

以上です。

教育長) ありがとうございます。

ご意見をいろいろと頂きましたけど、私も山川で習っているということで高校時代を思い出しながら、非常に興味があってじっくり見させていただいたんですけども、他者に比べると、ちょっとやっぱり、内容的に難しい部分があるのかななんて感じもして、あと、育鵬社ですね。この部分もちょっと、お二人の方から出てまして、先ほど歴史認識の問題とかもいろいろな部分があるということで。それと日文、この辺も非常に面白いのかなという興味もそそりますけれども。最終的に委員の多くの方が、教出というようなところで、歴史の教科書につきましては、教育出版株式会社のご意見が多かったというふうに捉えてよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、次に参りたいと思えます。

次、社会の公民的分野について、審議をしたいと思えます。委員の皆様のご意見をお伺いしたいと思えます。

公民、いかがでしょうか。

#### <公民的分野／意見>

トリー委員) 同じ社会の中のつながりという意味で、私はやっぱり、教出、最終的に、結論的にはよろしいんじゃないかと思っておりますが、とても神奈川のことの記載もかなり多く出ておりますし、あと広島にオバマさんが訪ねていった、そのくだりも出ております。あとは、イラストの人物が問いかけて考えさせるという、そういう部分がとてもうまく子どもに、学習のまとめとして、うまくまとまっているかなというところ。あとは、今言ったような歴史との兼ね合いということも含めて、教出がよろしいのではないかなと思っております。

ただ、日文も神奈川の記載はとても見やすく多く入っていますし、先ほどの歴史でも名前が出ました育鵬社、こちら公民とはこういうものだという説明がすごく明確に説明されて、公民ってちょっと分かりにくい分野なので、子どもたちが公民ってなんだろうという、その辺の説明がすごくうまくされていていいかなというところもあったんですけど、歴史とのつながり、そういうものを考えて大磯の子どもたちが学ぶときに、やっぱり教出がよろしいのではないかと。あと、先生方の現場の声も、教出をととても推す声が多かったので、教出だと思います。

教育長) ありがとうございます。

そのほか、いかがでしょうか。公民的分野。

濱谷委員) 結論的に言いますと、教出であります。その理由は何かといいますと、教科書の構成上、章立てて、そして節を使って教科書が編集されています。

各章のはじめには、学習のはじめにという部分で、学習の見通しが持てるような記述になっていて、編集になっている。そして、今度は章が終わる時には、学習のまとめ、そして表現ということで、振り返りができるような見通しになっているところ。そして、SDGsの項目が適宜表示をされているという意味で、「神奈川教育ビジョン」が取り上げているSDGsについては、大いに利用ができるのではないかなというふうに考え、これが推した理由でございます。

以上です。

教育長) そのほかいかがですか。

曾田委員) 結論から申し上げますと、教出を推薦したいと思っております。これは、現場の先生の声がなかなかよかったということと、それから、これは各者、何者かに載ってございましたけど、広島へオバマ元大統領が訪ねて行って、そういう儀式が出てございました。そういったものも教出にも載ってございました。これは大事なことです。

例えば、育鵬社で言いますと、拉致問題、ちょうどこの間横田さんのお父様がお亡くなりになりましたけれども、拉致問題のことも取り上げて、横田さんも載っていたり、いろいろな、そういうしっかりした部分はございますけれども。現場の声と、それから、これから歴史をちゃんと評価できるところが教出にはありましたので、私は教出を推薦させていただきます。

以上です。

長嶋委員) 私も公民は、やはり歴史とのつながりというか、やはり日本の国柄、国際的に関係する部分というのは、学ぶところが共通点が多いのかなと思ひまして、そういう部分で、やはり歴史が教出でしたので、より幅広く深く学べるということで、教出の教科書がいいんじゃないかというように思います。

教育長) ありがとうございます。

今、何者か出ておりますけれども、日文はシンプルで見やすいとか、育鵬社の場合は人権とか拉致とか。ただ、4名の方が、問いかげとか、考えられるとか、章立てが非常にいいんじゃないかというところで、教出という意見が出されております。

社会の公民に関しましては、教育出版株式会社ということでよろしいでしょうか。次に、同じ社会科目で地図に参りたいと思います。

地図について審議をしたいと思います。地図は2者出ていますけれども、どちらがいいか、ご意見を頂きたいと思います。

#### <地図／意見>

濱谷委員) 2者ということで、私は先ほど、地理で帝国を推させていただきました。そのつながり上、地図も帝国ということになりました。

理由は、つながりということでしたけれども、教科書の内容を見ていきますと、A4版いわゆる大判で見やすい、使いやすい。そして、公民、あるいは地理の中でもSDGsというものが盛んに記述されているという部分で、そのSDGsの観点を重視し、特に防災に関する地図や資料が充実をしているというようなところ。それから、地図を利用するというのはなかなか子どもたちは興味を持たない、生徒たちも多いというように聞いております。地図帳をより

活用するための工夫として、生徒が主体的に学べる間、地図の活用ということをして94か所、全131問が設定をされているという、こういうところで、帝国を推すものでございます。

以上です。

教育長) ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

曾田委員) 先ほども申しましたけれども、私、前の仕事が全国を回る仕事をしており、地理と地図が重なっているかもしれませんが、地図のほうを利用して、当時まだカーナビがない時代でしたから、これを利用して全国を回る現場をずっと歩いてきた経験上、帝国でお願いできればということで、帝国に決めました。

教育長) トーリー委員、お願いします。

トーリー委員) 帝国は私もいいかなと思っておりますが、いろいろな世界の各州ごとの鳥瞰図ですかね、あれがとてもすばらしかった。それと、QRコードがとてもやはり充実しているなというのが、圧倒的な理由の一つです。資料とか、そのクイズとか、そういうコンテンツを使いながら、子どもたちの学びにうまくつなげていけるかなと期待しております。

教育長) よろしいでしょうか。

長嶋委員) 地理ってやはり過程がかかる場所ですから、地理と一緒に帝国のほうで学びやすいかなというふうに思います。

教育長) 皆様、帝国ということで。私も初めから感じたのは、中国大陸から見た日本の地図というのは、今北朝鮮の動きとかもいろいろと気になるんですが、非常に、これは私としては、もし現場にいれば使いたいなというふうに思いました。

皆さんそろって帝国ということで、地理につきましては、株式会社帝国書院ということでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、よろしいでしょうか。続けて、大分疲れているんじゃないかと思いますが、よろしいですか。

では、数学に参りたいと思います。

数学について、委員の皆様のご意見を頂きたいというふうに思います。数学、いかがでしょうか。

## <数学／意見>

濱谷委員) 数学は7種類で、大変多い種類でございます。

まさに、これからの子どもたちに必要になってくるのが、理科・数学という理数の力というふうにも世の中の動きはなっております。そんなことが反映しているのかなと。

というのと同時に、数学嫌いの子どもたちも一定数いるように現場では聞いております。そのために、私は先ほどからも何回も発言をしておりますけれども、地域や子どもたちを、誰よりもよく知っている、そして専門職として指導にあたられている先生たち、そして大磯の学校、小学校2校・中学校2校、いわゆる小中というつながりというのものもある。そんな中で7種類の教科書の中で、今、現場の先生たち、そして検討委員会協議会などにも出席し、オブザーバーで話を聞いておりますと、やはり啓林館の教科書が一番いいのかなと思いました。

それはどうしてかということ、皆で学ぼう編と、自分から学ぼう編の2部構成になっており、そしてさらに、自分から学ぶという自主的な勉強をする生徒には、学習の記録や章に対応した入試問題が設けられている。こういうところにも大きな特色があり、それから、数学が嫌いな子どもたちのためには、理解を助けるためのQRコンテンツが多数用意されている。まさしく視覚で学ぼう・取り組もうという使い勝手のいい教科書になっているのかなというふうに考えました。

GIGAスクールという構想もありまして、コロナ禍によってそのGIGAスクールが前倒しになっている。1人1台の端末も近々用意されているというの聞いておりますので、まさしくQRコンテンツがこれだけ利用されているならば、啓林館をお使い

ならば、数学が不得意な生徒にも特色であるスリーステップでの学習ができやすいようになっているということで、啓林館を推させていただきます。

もう一方、数学というと数研、こういうイメージがあるわけですがけれども、この数研のほうも本冊と探求ノートが別冊に用意されている。そして、数学の解く回答の中で、話し合っただけで学んでいこうという活動題材を豊富に用意しているというところ、あるいは、数学的な見方、考え方、これを働かせる力、学びを活用する力、このところを育成していこうという内容が数研にもありましたけど、先ほど申し上げた視点で、啓林館を推させていただきます。

以上でございます。

教育長) ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。数学。

トリー委員) 私も今出た啓林館、数研と東書あたりでいろいろ考えたんですが、東書もすごく学びのためにストーリー性がある構成でいいのかなというところですか、数研はもちろん、今お話に出ていたように、評価が高いところもあるんですけど、私事ですが実は私は理数系が苦手です、結構数学が苦手なお子さんって、小学校からちょっとつまづき始めて、もう中学になると決定的にもう嫌いになっちゃうということが結構あるものですから、その苦手な子どもというのに視線を当てて考えたときに、啓林館はやっぱり、繰り返し繰り返し、とても問題数が多い。それでどんどん学ばせていこうというのと、それと過去の入試問題が入っていたりしている。そういうところで、二次元コードもうまく活用できますし、やはり一番苦手な子どもにとって、理解しやすい、分かりやすいというところに焦点を当てると、啓林館が、ちょっと一歩先を行っていたのかなという感じがしております、私も最終的に啓林館を薦めさせていただきたいと思っております。

以上です。

教育長) ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

長嶋委員) 二人の委員から出ております、私も数研か啓林館ですけども。

数研は別冊ノート、探求ノート、本当に現場の先生方が子どもたちにどのように指導できるかという。それが、あくまで、逆に言えば教材が多過ぎるという部分もあるのかなと思います。啓林館はそういう面では振り返りとか問題集が多いとか、巻末が充実しているというようにも考えて、活用できれば啓林館のほうが1冊で分かりやすく教えられるというような感じがします。

教育長) ありがとうございます。

曾田委員) いろいろな先生方のご意見もございしますが、現場の先生方が多様な指導ができる教科書があるというような発言が大きく聞こえてきてまして、それが啓林館であるということで。従来、啓林館を使っていたから使いやすいのかもしれないけれども、多様な指導ができるというのは、非常に、今お話がありましたように、苦手な子どもさんがある中で、いろいろなこの向き不向きを上手に指導できる教科書があるというのは大事なことであるということで、私も啓林館を推薦させていただきます。

以上です。

教育長) 多くの方が啓林館ということですけども。特に数研の場合だと、別冊とか、探求ノート、こちら辺りに非常に面白味があるんじゃないかというふうなご意見も頂きました。あと、やはり練習問題とか、繰り返しできるようなところで、啓林館が一番多いのかなと感じます。

数学については、株式会社新興出版社啓林館というご意見が多かったということ、よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、理科に参ります。理科について、皆様のご意見を伺いたいというふうに思います。いかがでしょうか。

#### <理科／意見>

濱谷委員) 理科は5冊ということです。教科書は生徒のものであると同時に、先生のものであるというふうに考えます。先生を教科書を通して応援していく。まさにこれが教科書の編集方針になっているというふうに理解し、その視点で、私は教科書に学図、教出、啓林館。この3冊に興味を持ちました。

学図の場合には、全ての生徒実験で探求の加点を詳しく示してありました。若い先生が大変こういう記述があるといいんじゃないかなというふうに思いました。それから、学問ごとの探求の重点が紙面で分かり、授業づくりに役立つことができる内容というところが学図の特色である教科書の内容だと理解しました。

教出のほうは、学習の仕方、内容、そして教科書のデザイン、紙面、レイアウトなどの工夫によって、小中のギャップが生じない教科書作りをされているという気がいたしました。

そして啓林館です。啓林館は、生徒が全体的に探究する探究実験、自分の考えを書き込む探求シート、理科の見方、考え方を生かした、皆で探求プランというものが設定をされ、誰もが探求的に学べ、確かな学力が身に付く、こういうような構成になっております。

そういう意味で、やはり先生たちが大磯の子どもたちを教えていくわけでありますから、やっぱり使い勝手ということになれば、やっぱり啓林館が推薦に値するのかなというふうに考えました。

以上でございます。

教育長) ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

曾田委員) 各社、見させていただきましても、最近、日本列島がおかしい状態、地震があったり、災害、いわゆる水害とか、いろいろなことが起きておりますけれども、そういうことをちゃんともれなく子どもたちが勉強でき、それから気を付けましようということですからずっと書いてあるのが啓林館でございましたので、私は啓林館を推薦いたします。

以上です。

教育長) ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

長嶋委員) 理科ということで見やすいような工夫がされていますけれども、学図は対話的に学習を進めることを深められるという傾向であるというふうに思いまして、やはりウェブコンテンツは二次元コードも非常に分かりやすくあって、よかったですと思います。

教出は変形図書という多少大きさになってますけれども、その中でやはり自然現象とか、気象観測とか、そういう部分にかなり興味を持たせるようなつくりになっているのが、すごく。

あとは啓林館もやはりそういう部分で、いろいろな社会とか生活と関わっての学びをまとめの中で気象問題として学べるというような部分が見られたので、その3者で、啓林館でもいいなということです。

教育長) ありがとうございます。よろしいでしょうか。

まとめますと、学図、教出、啓林館という中で、特にページ数の問題とか、かなり100ページぐらい違うような、しっかりと二次元コードとか資料とか、学習を深める内容とかいろいろな部分があると。確かな学力をつける、探究実験、探求シート、

こういったところで今3名の方から啓林館がいいのではないかというご意見を頂いています。よろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 今のところ、一番多かったのが、今までどおり株式会社新興出版社啓林館ということで、理科を終わりたいと思います。

続いて参ります。音楽です。

音楽の一般について審議をしたいというふうに思います。委員の皆様から、2者のご意見を頂けたらと思います。

#### <音楽・一般/意見>

トリー委員) 音楽は2者ということで、どちらも甲乙はつけがたくて、非常に悩ましいところではありました。

ですので、現場の、技能系は割と現場の先生方のこだわりがそれぞれあるので、現場の声に一番耳を傾けてとっておりました。現場の検討会では、教芸がやはり扱いやすいということで出ていまして、リコーダーがレッスン1・2・3・4と、すごく。どうしても一番リコーダーがみんな習う楽器としては多いので、そういうものの扱い、取り組み、設定がうまくできているということですか。

あとは伝統芸能に関して、狂言ですとか歌舞伎ですとか、日本の伝統芸能も、どっちも本当に選べないような状態で、教芸も教出も両方使えたらなと思っていたんですけども、現場の声が、やはり教芸が多かったので、そちらにさせていただいたらよろしいのではないかなと思っております。

教育長) そのほか、いかがでしょうか。

濱谷委員) 今、トリー委員がご指摘をされましたように、小学校からもつながってくるリコーダー、レッスン1からレッスン4と順を追って取り組めるように設定されているというご指摘がありました。調査委員会の概要報告を見ても、こういう視点が教芸のよさなんだというような記述もありましたので、私も教芸を推薦したいというふうに思います。

以上です。

教育長) ありがとうございます。

長嶋委員) 私も教芸のほうがいいかなと思います。やっぱり感性を磨くという部分の教え方がいいと思います。そういう創作教材が配置されているのがいいかなと。また、いろいろな著名人、音楽との関わり、メッセージ、このようなところが学びに、次につながるというふうに感じました。

教育長) よろしいでしょうか。

具体例で説明しやすいとか、特にリコーダーの関係でということでしたけれども、今3名の方から株式会社教育芸術社の教科書が、というふうなご意見を頂いております。

音楽の一般については、そういったところでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) では、続いて音楽の器楽のほうについてご意見を頂ければと思います。

#### <音楽・器楽合奏/意見>

トリー委員) 器楽のほうも、教科書が教芸ですから、単純にいつてしまうと、そろえたほうがいいだろうと。先生方もそのほうが扱いやすいと。もう一言で言ってしまうとそれが理由であります。本当に教材的には甲乙付けがたかったので、現場の声ということで、同じく教芸がいいのではないかなと思います。

教育長) ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

濱谷委員) 私もトーリー委員の意見に賛同いたします。

以上です。

曾田委員) 教育委員をやっておりますと、各学校に授業参観に行きますけど、音楽も参観することが多いんですけども、先生方とお話をしていて、何か問題があるかどうかという点については、全く問題がございませんので、現在使っている教芸で問題はないということで理解しております。推薦させていただきます。

以上です。

教育長) 皆さん、音楽の教科のほうと器楽のほうは一緒にいいんじゃないかと。現場の声重視というようなところでご意見を頂いております。

株式会社教育芸術社のほうが皆さんよろしいんじゃないかということで、よろしいでしょうか。

それでは次に参りたいと思います。それでは美術に参りたいと思います。

美術について審議をいたします。委員の皆さんからご意見を頂きたいと思います。3者ですね。美術はいかがでしょう。

#### <美術／意見>

トーリー委員) 美術も3者なんですよね。出版社が決して多くないので、これも本当に難しいところでした。光村で私がすごく面白いなと思ったのは、トレーシングペーパー。最後の晚餐ですかね。それがトレーシングペーパーで一点を集中して、消失点を探していこうという、それがすごく面白いなと思いました。それと、作者の言葉、これはどの会社にも出ておりますけれども、日本の風神雷神ですとか、俵屋宗達さんの。そういう日本の文化もたくさん、きっちり入っている。そういうところで、光村、面白いなと、あと、音声ガイドがありますよね。それが分かりやすかった。

ですけど、開隆堂もルネッサンス、ダヴィンチのところから、ロマン主義のミレー、印象派のルノワールとかセザンヌですね。そういう流れをしっかりと、ヨーロッパの美術史を出していたのかなと。あとは蒔絵の硯箱でしたかね、それがちょっと印象的だったんですね。

日文は日文で、サグラダファミリアの外尾悦郎のことがちょっと出てきたりとか、それぞれ。これも甲乙つけがたい。3者しかないのが難しいなというところだったんですけど、やはり、これも現場の声が一番だろうというところで、検討会では光村という声が多かったかなと思いますので、光村でよろしいのではないかなと思って、推薦させていただきたいと思っております。

教育長) ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

曾田委員) 同じ意見です。

教育長) それでは、美術につきましては、光村図書出版株式会社がよいのではないかと、意見が大体まとまったと思います。

では、次に参りたいと思います。保健体育について審議いたします。保健体育は4者です。ご意見を頂きたいと思います。いかがでしょうか。

#### <保健体育／意見>

曾田委員) 私は幾つかの視点で見させていただきました。一番最初に目につきましたのは、この町には大隅先生という、ノーベル賞を取った方が住んでおります。2者載っておりますけれども、こういうのを載せていただくのはいいことだなと大変喜んでいるわけですが。

それともう一つ気になっているのは、今、いろいろな薬物問題がたくさん出ておりまして、中学生あたりにも大分広まってきておりますので、薬物に対してどういうふうに対応しているか。それをずっと見させていただきました。

それと、もう一つは、自転車の事故が最近多いので、この辺は自転車通学もないわけではございませんが、そういった自転車に対する、危険な、どれほど危険であるか。それに対する対応とか。それとまだコロナが出ておりませんが、感染症の予防について詳しく載っている。そういう点を十分に注意しながら、やはり間もなく青年になっていきますから、そういうところはしっかりと載せてくれているところが必要であるというふうに私は考えておりまして、私は学研を推薦させていただきたいと思っております。

教育長) 曾田委員から学研をといるところでのご意見を頂きましたけれども、そのほか、いかがでしょうか。

濱谷委員) 4冊の中で、興味をもちましたのが、大修館の教科書です。それと学研ですね。

大修館といいますと、私が育った昭和の時代が、大体、保健体育という大修館、こういうようなイメージを私は今でも持っているわけでありまして。多分そのイメージはルール解説が優れていたというふうにも記憶しております。そんな感じで、大修館と学研を見させていただきました。

あとの東書、大日本も見ていく中で、ひとつ、保健という視点を設けました。インターネット、スマートフォン、SNS、これでございます。4者ともしっかりとこれらの項目に関しては記述があり、生徒達がそれを読むことによって、健康に気をつけていこうという流れがありました。その中で、学研が「探求しようよ」ということで、インターネットの問題点、いじめについて取り上げ、自らの生活課題に結び付けて考えられる資料が掲載されてるという報告がありました。それと同じような形で、教科書にもあるなら、ということをお自身も気が付いたわけでありまして。

そして、そのもう一点は「探求しようよ」ということで、生涯にわたっての健康について取り上げられている、そんなところが学研のいいところなのかなというふうにご考えられるなと思っております。

大修館は、スポーツライフを実現できるようにというふうな項目があって、大修館の特色のあるスポーツ、これに関しても章を割いているところにも興味をもちました。

しかし、繰り返しになりますけれども、心の問題、そして、今のインターネット等の問題、こういうことについて、子どもたちに健康ということをお介して考えていこうというところが、学研がよかったのかなということで、推薦をさせていただきます。以上です。

教育長) よろしいでしょうか。

トリー委員) 私も学研なんですけれども、あとは学研は資料がとても見やすかった。すごく本文の近くにあったので、分かりやすい、見やすいということと、それと先ほども出ていました、インターネット、いじめの問題について、しっかり考えられるような資料になっていたというところですね。あと、東書も名前は出ていませんでしたが、SDGsのことですごく掲載がしっかりあって、それぞれよさは4者ともあったかと思いますが、最終的に学研をと、私も思います。

教育長) ご意見を頂きましたが、いろいろな視点がございました。その中でも大修館、それから学研ということで、最終的に株式会社学研教育みらいの推薦が多かったという結果でよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) ありがとうございます。

それでは、続きまして、技術家庭の技術ですね。技術の分野について決めたいと思います。

#### <技術分野／意見>

長嶋委員) 一応3者ございますけれども、東書と教出を私は推薦したいと思います。

東書は「問題解決カード」ですね。いわゆるトータルシティとかスマートシティ、それから大磯の地域の現状に合った部分で学べる、ワークシートにもそういったことが載っているというふうなことでしたけど。

教図は、別冊の技術ハンドブック、これが非常によくできていまして、この活用の仕方によって効果があるのかなと思います。そういう部分で、どちらかに決められたらいいかなというふうに思います。

教育長) そのほか、いかがでしょうか。

トリー委員) 私は、東書がよろしいのではないかなと。

やっぱり、こういう技術と違って、得手不得手があるので、初めて何か作業に入るときに、基本的なその作業の説明というか分かりやすさという意味で、とても東書は優れていたかなと思います。写真なんかで説明したり、すごく充実していたなど。あと、問題解決カードですね。これがすごく主体的に問題に取り組もうという姿勢を導く上で、すごくすばらしいなと思っておりまして、東書は私も推薦させていただきたいと思います。

教育長) ありがとうございます。その他はいかがでしょう。

曾田委員) 大体同じ意見で。

教育長) では、技術家庭については東京書籍株式会社というような意見が多かったというふうに思います。よろしく願いいたします。

それでは続いて、技術家庭の家庭科の部分に参ります。

#### <家庭分野／意見>

曾田委員) ご承知のように、今年は年が明けてからずっとコロナで来ておりまして、私たちが初めてですけれども、今の子どもたちもみんな初めてなわけですね。それで、どういうふうに変わっていくのか、いろいろなことがございますが、そういったことを、そういうことが教科書には今回書いてありませんけれども、それに対応できるかどうかという点を中心に見させていただきました。

それで、もちろん、コロナだけでなく、水害等もいろいろございますけれども、そういう家庭の中でどういうふうに捉えていくのか、そういったことを細かくというか、地域との関わりも含めていろいろなことを書いてくれているのが東書ではないかというふうに思っております。ですから、家庭の中ではどういうふうに多くの人たちと、どういうふうな付き合い方をしたらいいとか、あるいは水害にはどういうような対応をしたらいいのかとか、そういったことが分かりやすく書いてあるのが、教えてくれているのが東書ではないかということで。中学校ですから、こういったのをさりげなく読み取る力も付ける時期で、ちょうどよかったんじゃないかというふうに、私は思っております。

東書を推薦させていただきます。

教育長) ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

濱谷委員) 私も東書を推薦させていただきます。これも検討委員会で話を聞いていて、あそこの中で東書のほうが、いろいろな内容、調理ではあくを取るとか、落とし蓋とか、そういう具体的な記述がある。それは大人になった際の参考書としても活用

ができるんだということを聞きまして、再度、東書の教科書を当たらせていただきました。まさしくそのとおりでなというふう感じたと同時に、防災教育、減災教育ということで、教科書と切り離して持ち運ばれる、そういう手帳が巻末に設けられている。これも東書の大きな特色だったんだということを改めて気が付かせていただきました。そんなわけで、東書を推薦させていただきます。

以上です。

教育長) そのほか、いかがでしょうか。

長嶋委員) 開隆堂は、今こういう年齢構成ですけれども、ここには書かれていない幼児や高齢者にいろいろ起こることなどを例に挙げて取り上げて、接し方などを学べるというような部分はいいのかなと。そういう体験が数多く掲載されているという部分で、東書も同じように分かりやすく載せておりますので、このどちらを取るかという部分で東書というふうに思います。

トーリー委員) 私も、開隆堂も手順が、動画がすごく分かりやすかったなと思って。あとは、アルツハイマーですとか、LGBTですとか、そういうところに触れてきているのも興味深いなというのもあったんですけれども。東書の、やはり先ほどから出ています防災・減災手帳、これが今の時代を考えたときに、最近もう大雨ですごいことになっていきますけど、とても気が利いていて、これはいいかなと。あと、調理以外のところでも掲載写真がとても多かったように思っております。それと、クッキングメモのような、あれがすごく検討委員会では評判が高くて、現場の声が、やはり東書が少し多かったのかなと思いますので、そちらでよろしいかなと私も思います。

教育長) 今、3者のうち、東書と、それから開隆堂という意見がある中で、東書のほうが多いということで、特に防災・減災手帳、そこら辺のところ非常によく感じないかなということで、東京書籍株式会社という意見が多かったということで、決めたいというふうに思います。技術家庭の家庭科については、それでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、次に、英語に参りたいと思います。英語は6者、この中でご意見を頂きたいというふうに思います。いかがでしょうか。

#### <英語／意見>

トーリー委員) 英語はすごく皆さん力を入れていただいて、すごくどこも素晴らしかったなと思うんですけれど。現在、小学校で、去年三省堂に決めさせていただいたばかりというのもありまして、小中一貫校ではないですけれども、一貫した教育をとるという部分で、特に外国語ですので。そういう部分で、やはり三省堂がという声が、現場の声もそうですし、多かったかなと思うんですね。登場人物の多国籍性が面白いとか。あとは、話題も、すごくディスカッションできるようなテーマ、広島のこととか、キング牧師についてとか、そういうディスカッションできるような部分も多くありましたので、私は小学校からの一貫性を考えたときに、たくさん、何者もあるんですけれども、三省堂が、ちょっと私的には、一点推しで、決めさせていただきたいなと思って、推薦させていただきます。

教育長) ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

曾田委員) 今のトーリー委員の意見と一緒になんですけれども、やはり、昨年三省堂で決めさせていただきまして、そのときの声がやっぱり、教えやすい、それから学びやすいということがあったんで決定したわけなんですけれども、その子どもたちが、中学校へ来るわけですね。そうすると、何人かは違う教科書もあったかもしれませんが、

ほとんどがその教科書で来ておりますので、慣れもありますので、それは大事なことでないかなということ、私は三省堂で推薦をさせていただきます。

トリー委員) 度々すみません。あと、出版社さんによって、ちょっと扱いが、be動詞から順序立てて教えていくよということと、一般動詞まで、be動詞・一般動詞で教えていくよ。それからもっと助動詞まで教えていくよ、と。いろいろやり方があったかと思うんですね。確かに長文読解なんかは助動詞までやっているとすごく分かりやすい。ただ、外国語って、小学校では今、おそらく発話だけでやっているわけですね、読み書きとかしていない。そういう段階から来たときに、もう既に苦手意識を持っているお子さんというのもいらっしゃるものですから、そういう部分で、今までバランスを考えたときに、現行の三省堂がその意味でも、先生方も教えやすいし、子どもたちも受け止めやすいのかなということもございます。

教育長) そのほか、いかがでしょうか。

濱谷委員) これも現場の先生から聞いた、教科書を選ぶときの視点をちょっと聞いたんですけれども。この教科書、トリー委員が指摘されたように、ABCという基準をつくったそうであります。Aがbe動詞だけを教える。Bがbe動詞プラス一般動詞で、Cはbe動詞プラス一般動詞プラス助動詞。こういう編集になっているという話を聞かせていただきました。まさしくこの視点で考えていくと、やはり小学校の英語が始まった。そういう意味では、やはり難しさというのは避けていかなきゃいけない。英語嫌いをなくしていかなければならない。そして、面白くないよと、もうそこまでやっちゃったよと、こういうようなことも除外していかなきゃいけない。そういう意味では、Bという内容をもった教科書がいいんじゃないか。そんな視点で見ると、三省堂の教科書、いわゆるレッスンの導入では、聞く・読む・話す・書くの4技能が扱われている、そして、終わりに長めの英文を読む書き込みが設定をされている。こういう視点で、やはり一番現代的なのかなというふうに思い、三省堂を推薦させていただきます。

以上です。

教育長) ありがとうございます。よろしいでしょうか。

小学校との関連ということで、昨年、英語については苦労して選んだ経緯がございまして、その指導の流れ、子どもたちのことを考えると、やはり同じ株式会社三省堂の流れで行くのがいいんじゃないかということで、今、そのような意見を頂いております。

英語についてはそういった意見でよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) ありがとうございます。

次に、道徳に参りたいと思います。特別の教科道徳について、ご意見を頂きます。

道徳については、7者です。よろしく願いいたします。

#### <道徳／意見>

濱谷委員) 道徳ということでございます。これも大変、社会では議論を呼ぶ教科でございまして。そんな中で、これは慎重に教科書を選んでいかなきゃいけない。教科書が子どもに合う、そして先生にも合うという視点で見っていきますと。やっぱり去年も光村が採択をされている点があります。そういう意味で、僕は、東書、あるいは教出にも興味を持ちましたけれども、やはり見ていくと学習の筋道が大変分かりやすい。あるいは、いじめ、情報モラル、生命、倫理、社会、こういう持続可能性等も今日的に取り上げられ、課題を積極的に扱っているという、こういうことを見ると、やっぱり光村の教科書は子どもたちの成長に寄り添って、効果的な学びを実現している。ま

さにそれは子どもの成長の過程、学校生活の流れを考慮して構成をされているというふうに理解しております。光村は新しい章に入るときには、右片のところに、その章で学ぶ徳目が書かれているわけでありまして。そういう意味で、徳目が書かれていたのと、現場では、もう答えを教えてしまうようなことになってしまうというご意見があるようでございますけれども、なぜこの使われている文章の中で、章の中でこの徳目が必要なのか。こんな違った視点で教師が教えることもできるのかなというふうに思ったりしております。学びに向かう力、これをやはり、現場では育成をしていかなきゃいけない。そういう意味では、光村の教材の配列がまさに工夫されているというところによさがあるのかなというふうに思います。

東書にも、生徒達が徳目について議論をする時間をしっかり確保した授業構成になっております。設問の数も2問に精選されているというところにも東書のいいところが見受けられました。教出の「学びの道しるべ」ということで、あるいは、学びの振り返りというものも設定されておりますけれども、総合的に見て、やはり光村がいいのではないかなというふうに感じたわけでありまして。

以上です。

教育長) ありがとうございます。いかがですか。

長嶋委員) 7者のうち、2者、日文と廣あかつきが別冊で道徳ノートがついています。これも非常に学びを深める、いろいろな気づきを深めていく効果があるのかなと。廣あかつきのこれはやはり、そういう部分では幅広く深く学べる教科書であると。そういう部分で、いろいろな、末尾には先人や現在活躍されている著名人とか、そういうもので刺激を与えられていくように思います。そういう中で、光村はやはり題材が教えやすい。分かりやすくご説明されていることと、小学校で道徳は光村を使っていますので、そういう流れの中では、光村のほうが生徒も学びやすい部分もあるのかなと、このように感じました。

教育長) ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

曾田委員) 各者読ませていただきましたけれども、最近では新幹線の掃除の件と、それからディズニーランドの掃除の仕方とか、いろいろなことが載っております。それともう一つ、オリンピック・パラリンピックで、努力をして頑張って金メダルをとれたとか銅メダルになったとかいろいろありますけれども、そういったこともありますけれども、最近変わってきたのは、オリンピックでもパラリンピックでも、何かで必ずいつもメダルを取るわけではない。そういう人達がいるということ、そこに焦点を当てて書いている本が多くなってきて、失敗があっても成功があるんだな、成功があっても失敗もあるんだなということで、非常に親しみやすい文章になってきておりますが、私はそういう中で国語の流れも含めまして、道徳は国語の流れも大事だということもありまして、そんな意味で光村を推薦させていただきたいと思っております。

教育長) ありがとうございます。

トリー委員) 私も、光村が最終的には、いろいろな教材、漫画もうまく使って、現代の子どもにはすっと気持ちに入っていくやすいのかなというところがありまして、そして先ほどおっしゃったように、国語との兼ね合いもとても重要かと思っておりますので、光村がよろしいかと思っております。ただ、個人的には廣あかつきもすごく深みがあるといなどは思いましたけど。道徳って、教科書外で教えられるものもたくさんあると思うので、先生方が教科書を使わなくても教えて行けるような、本当はそういう生活の中に、学校生活、家庭生活、社会の中で、自然と道徳教育ができるような社会になっていくことが、一番、本当は望ましいかと思うのですが、なかなか今、いじめとか、いろいろと問題がありますので、その辺のまとめ方も光村がお上手だったなと思っておりますので、私も光村がよろしいかと思っております。

教育長) ありがとうございます。

道徳の場合、別冊があるかないかとか、いろいろなところでの視点があるわけですが、使いやすさもそうですね。今多かったのは、廣あかつきと、それから光村と。特に光村をとという指示が多かったという感じなんですけれども、中には徳目が見えちゃっているじゃないかというような現場の先生方からの指摘がありましたけど、徳目が分かって、その奥の奥を考えさせるのが道徳なんだと。命が大切であるということは分かっているわけですね。その中で、どうして大切なのか、命って何なのかって考えさせる。最終的にはどう生きるのか。要するに、難しく言えば哲学を学ぶわけですが、採択の件では2年前に中学校の教科書を決めたわけですね。特に問題がない中で、無理に変更をする必要はないんじゃないかという意見も聞かれております。それを総合して、現在のところ、委員の皆様から光村図書出版株式会社がいいんじゃないかというふうな意見を頂いております。

よろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、皆様にご審議いただきました。

ここで、議案を作成したいと思います。そのために10分間休憩を取らせていただいて、事務局で今の意見をまとめた形で議案を提出してもらって、その後で最終的に判断すると。

暫時休憩をしたいと思います。よろしく申し上げます。

～ 休憩 ～

教育長) 休憩を閉じて、審議を再開いたします。

議案第6号『大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について』、書記より議案の朗読をお願いします。

書記) 議案第6号『大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について』、本文については省略させていただきます。令和2年7月28日提出、大磯町教育委員会教育長、野島健二。

以上です。

教育長) それでは事務局から、提案理由の説明をお願いします。

教育部長) 議案第6号『大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について』、提案理由の説明をいたします。

本案については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定に基づき、大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について提案するものでございます。

今回、皆様にご審議いただいたものを基に、議案を作成しましたので、ご承認くださるようお願いいたします。

以上です。

教育長) それでは、ただいま提案がございました。ご質問はよろしいでしょうか。

各委員) なし。

教育長) 特にないようでしたら、議案6号『大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について』、特にご異議がなければ、原案のとおり採択したいと思います。ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第6号『大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について』につきましては、原案のとおりご承認いただいたものとします。

### 【議案第7号 大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について】

教育長) 議案第7号『大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について』を議題といたします。

書記より議案の朗読をお願いします。

書記) 議案第7号『大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について』、本文については省略いたします。令和2年7月28日提出、大磯町教育委員会教育長、野島健二。

以上です。

教育長) それでは事務局から、提案理由の説明をお願いします。

教育部長) 議案第7号『大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について』、提案理由の説明をいたします。

本案については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条また同法施行令第15条の規定に基づき、大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について提案するものでございます。

詳細につきましては、学校教育課主幹より説明させますので、よろしくご審議のうえ、ご承認くださるようお願いいたします。

教育長) それでは、補足説明を事務局主幹、お願いいたします。

学校教育課主幹) 議案第7号『令和3年度大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について』、補足説明をさせていただきます。

お手数ですが、説明資料1ページの教科用図書の採択をする理由をご覧ください。本件につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律により、令和3年度大磯町立小学校で使用する教科用図書を採択するものです。

次の説明資料2ページに、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の抜粋がございます。この第14条の規定により、義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択することになっています。この「政令で定める期間」とは、説明資料3ページの義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条に「同一教科用図書を採択する期間は4年とする」と規定されております。なお、政令の第15条第2項にありますように、採択した教科用図書の発行が行われなくなった場合、その他の文部科学省令で定める場合においては、新たに採択をすることとなりますが、現時点でそのような状況にはなっておりません。

従いまして、令和3年度に大磯町立小学校で使用する教科用図書につきましては、今年度と同様、議案の別紙のとおり採択をしていただきたくお願いいたします。

補足説明につきましては以上でございます。どうぞご審議のほどよろしくお願いいたします。

教育長) 令和3年度使用の小学校教科用図書についての提案がありました。令和2年度から使用されている小学校教科用図書については、特に問題はないかと思いますが、何かご質問があればお願いしたいと思います。

各委員) 特にありません。

教育長) 他にご意見がないようでしたら採決に入ります。議案第7号『大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について』、特にご異議がなければ、原案のように採択したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第7号『大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について』につきましては、原案のとおりご承認いただきます。

議案第7号『大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について』は、原案のとおり採択いたします。

### 【議案第8号 大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について】

教育長) 次に、議案第8号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』を議題といたします。

書記より議案の朗読をお願いします。

書記) 議案第8号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』、本文については省略いたします。令和2年7月28日提出、大磯町教育委員会教育長、野島健二。

以上です。

教育長) それでは事務局から、提案理由の説明をお願いします。

教育部長) 議案第8号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』、提案理由の説明をいたします。

本案については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項、同法施行令第14条並びに学校教育法附則第9条の規定に基づき、大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について提案するものでございます。

詳細につきましては、学校教育課主幹より説明させますので、よろしくご審議のうえ、ご承認くださるようお願いいたします。

教育長) 続きまして、事務局主幹、お願いいたします。

学校教育課主幹) 議案第8号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』、補足説明をさせていただきます。

説明資料1ページの教科用図書の採択をする理由をご覧ください。本件につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項、同法施行令第14条並びに学校教育法附則第9条の規定により提案するものです。

特別支援学級で使用する教科用図書は、学校教育法附則第9条の規定に基づき、文部科学大臣の検定を経た教科用図書以外の一般図書及び文部科学省が著作の名義を有する教科用図書の中から、教科用図書を選定することができます。昨年度に引き続き、一般図書のご審議をお願いしますが、視覚障害のお子さんへの支援として拡大教科書を選定しております。これは学校と保護者との教育相談からの意見を伺いながら、お子さんのニーズに合わせた教科用図書を使用することが望ましいと判断したためです。従いまして、6教科7種目について、別紙のとおり「特別支援学級で使用する教科用図書一覧」として提案し、採択したいというものでございます。

なお、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条第1項の規定により、文部科学省の検定を経た教科用図書以外の図書を選定する場合は1年

ごとの採択となります。

補足説明につきましては以上でございます。どうぞご審議のほどよろしくお願いいたします。

教育長) ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見があればお願いします。

各委員) 特にありません。

教育長) ご意見がないようでしたら採決に入ります。議案第8号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』、特にご異議がなければ、原案のように採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第8号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』につきましては、原案のとおりご承認いただいたものとしします。

議案第8号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』は、原案のとおり採択といたします。

### 【その他】

教育長) 次に「その他」について、事務局からお願いします。

教育部長) 次回の定例会は、8月20日(木)、午前9時30分から、大磯町保健センター1階保健指導室で開催予定です。よろしくお願いいたします。

教育長) それでは、以上をもちまして、令和2年度大磯町教育委員会第1回臨時会を閉会いたします。お忙しい中、ご審議いただきまして、ありがとうございました。

(閉 会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

令和2年9月24日

教 育 長      野 島 健 二

教育長職務代理者      曾 田 成 則

委            員      トーリー 二葉

委            員      濱 谷 海 八

委            員      長 嶋 徹